

水稲用除草剤

## 粒状水中MCP「石原」



農林水産省登録	第4144号
有効成分	MCPAエチル・・・・・・・・1.2%
性状	類白色細粒
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指していう通称）
有効年限	3年
包装	3kg × 8袋

## 特長

✓ ホルモン型、吸収移行型の除草剤で、水稲生育中期以降の雑草処理剤として、水稲にはほとんど影響を与えず、主として広葉雑草を枯らしめます。

✓ 本剤は水田から水を落とすことなく（湛水状態のまま）散布できます。

✓ 2.4PA剤に比べ若干低温（約20℃）の時でも効力を発揮します。

## 適用作物と使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り 使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	MCPAを含む 農業の総使用 回数
水稻	水田雑草 (イネ科を除く)	有効分けつ終 止期～幼穂形 成期前 (但し、収穫 60日前まで)	全土壌	3.0～4.5kg	1回	湛水散布 (あらかじめ 水田の水の出 入りをとめ、 湛水のまま 10a当り所定 量を全面に均 一に散布す る)	北陸 東海以西	1回
		幼穂形成始期 (但し、収穫 60日前まで)		3.0～3.5kg			関東 東山 東北	
				3kg			北海道	

※本内容は2016年11月15日付の登録内容に基づいています。

## 効果・薬害等の注意事項

---

- 本剤は、MCPAを含む農薬ですので、他のMCPAを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 使用時期は、有効分けつ終止期から幼穂形成開始期までが適期ですが、有効茎を確保したら、なるべく早めに雑草の小さいうちに、雑草が十分冠水状態となるようにして散布してください。
- 本剤は、水稻生育の後期に使用する除草剤であるため、水稻生育初期の雑草を抑制することはできません。本剤使用に先立って他の水稻生育初期または、中期除草剤を散布して本剤との体系除草を行うか、本剤散布前に中耕除草を行ってください。
- オオアブノメやマツバイ、ヒルムシロ、ミズガヤツリ、クログワイなどの多年生雑草、ヒエなどのイネ科雑草およびウキクサ、クロモ、ホッスモなどの浮草類は、本剤に対する抵抗性が強く、所定量では枯殺することができませんので、このような雑草の多い水田では、これらに有効な初期または中期除草剤との体系で防除するか、中耕除草やヒエ抜きをていねいに行ってください。
- 散布に当たっては、必ず止め水にして散布し、散布後も雑草が十分冠水状態を保つようにし、そのまま2昼夜ぐらひは田の水を動かさないようにしてください。また、散布後7日間は落水、かけ流しをしないでください。
- 周辺の広葉作物（桑、茶、果樹などを含む）にかかると薬害を生じるおそれがあるので、散布時はこれらの作物（特に畦畔大豆のある場合）に薬剤がかからないように注意してください。
- 散布に用いた器具類は、使用後できるだけ早く水で十分洗っておき、他の用途に使用する場合は薬害の原因にならないように注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

## 安全使用上の注意事項

---

- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

### 魚毒性等

水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。

### 保管

密封し、直射日光をさけ、食品と区別して冷涼・乾燥した所に保管してください。種子、苗、肥料および他の農薬などと隔離してください。